

鳥取県商工会議所連合会

第 39 回中小企業景況調査結果報告書

中小企業景況調査概要

1. 鳥取県商工会議所連合会（鳥取、米子、倉吉、境港）は平成 18 年 7 月、第 39 回県内景況調査を実施、このほどその結果をまとめました。
2. 調査時点 平成 18 年 4～6 月期
3. 調査対象 県内中小企業 150 事業所
製造業 50 事業所、非製造業 100 事業所
鳥取・米子＝各 50 事業所、倉吉・境港＝各 25 事業所
4. 回収率 117 件 (78.0%)
製造業 37 事業所・74.0%、非製造業 80 事業所・80.0%
5. 集 計 B S I 表示
X＝上昇・増加、Y＝不変・横バイ、Z＝減少・下降
 $B S I = 1 / 2 (X - Z)$ 但し $(X + Y + Z) = 100\%$

[前年同期比](平成17年4~6月比)

非製造業の売上高は建設業マイナス21.1、卸売業同23.6、小売業同12.5、サービス業同25.0となり、全体を押し下げる結果となっています。業況判断もわずかに改善したとはいえマイナス25.4と依然として厳しい水準にあり、非製造業の不振が際立っています。これに対し製造業は売上単価、資金繰り、収益状況、業況判断とも改善しています。

[来期見通し](平成18年7~9月見通し)

売上高の見通しはマイナス6.5と前年同期より1ポイント後退していますが、地区別では米子、倉吉のプラス見込みに対し、鳥取はマイナス20.7と厳しい予測となっています。製造業は前年同期のマイナス3.4からプラス5.4に大幅改善の見通しですが、ここでも非製造業で厳しい見方が出ています。

[経営上の問題点]

当面の問題点は「同業者間による競争激化」が全体の19.1%「消費・需要の停滞」が14.6%「仕入れ単価の上昇」13.4%が上位を占めています。記述回答では、「石油製品の高騰」「公共工事低価格入札による収益状況の悪化」などのほか、「駐車違反取り締まり強化による客足減少」(鳥取地区)があらたな問題として浮上しています。

前年同期比 平成17年4～6月比

※()内前年同期の結果

()回収数	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断	
全県(117)	-14.1 (-4.9)	-13.5 (-16.6)	-11.4 (-15.4)	-6.0 (-2.5)	-13.8 (-21.9)	-19.0 (-19.7)	
鳥取(41)	-17.1 (-5.0)	-15.9 (-12.5)	-13.4 (-15.0)	-9.2 (0.0)	-13.4 (-20.0)	-23.8 (-20.0)	
米子(36)	-13.9 (-10.0)	-14.3 (-16.7)	-11.4 (-26.7)	-5.9 (-10.0)	-12.5 (-21.7)	-18.1 (-16.7)	
倉吉(23)	-10.9 (-13.3)	-13.1 (-26.7)	-4.4 (-13.3)	0.0 (6.7)	-23.9 (-36.7)	-21.8 (-28.6)	
境港(17)	-11.8 (-5.9)	-6.3 (-12.5)	-16.7 (-6.3)	0.0 (0.0)	-3.0 (-11.8)	-5.9 (-17.7)	
製 造 業	全県(37)	2.7 (1.7)	-6.8 (-10.3)	-6.8 (-13.7)	0.0 (0.0)	-1.4 (-8.6)	-5.4 (-8.6)
	鳥取(14)	-3.6 (10.0)	-17.9 (-20.0)	-14.3 (-20.0)	0.0 (0.0)	3.6 (-10.0)	-10.8 (-10.0)
	米子(13)	-7.7 (0.0)	-3.9 (-5.0)	-7.7 (-15.0)	0.0 (0.0)	-15.4 (-5.0)	-7.7 (0.0)
	倉吉(5)	20.0 (-25.0)	0.0 (-25.0)	10.0 (-12.5)	10.0 (0.0)	0.0 (-37.5)	0.0 (-25.0)
	境港(5)	30.0 (10.0)	10.0 (10.0)	0.0 (0.0)	-10.0 (0.0)	20.0 (10.0)	10.0 (-10.0)
非 製 造 業	全県(80)	-21.9 (-8.5)	-16.7 (-20.2)	-13.7 (-16.3)	-9.2 (-3.9)	-19.4 (-29.2)	-25.4 (-25.9)
	鳥取(27)	-24.1 (-20.0)	-14.8 (-5.0)	-13.0 (-10.0)	-14.6 (0.0)	-22.3 (-30.0)	-30.8 (-30.0)
	米子(23)	-17.4 (-15.0)	-20.5 (-22.5)	-13.7 (-32.5)	-9.5 (-15.0)	-10.9 (-30.0)	-23.9 (-25.0)
	倉吉(18)	-19.5 (-9.1)	-16.7 (-27.3)	-8.3 (-13.7)	-2.8 (9.1)	-30.6 (-36.4)	-27.8 (-30.0)
	境港(12)	-29.2 (-12.5)	-13.7 (-22.7)	-25.0 (-9.1)	6.3 (0.0)	-12.5 (-20.8)	-12.5 (-20.8)

来期見通し 平成18年7～9月見通し

※()内前年同期の結果

()回収数	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断	
全県(117)	-6.5 (-5.5)	-8.8 (-9.8)	-9.2 (-11.4)	-7.1 (-3.7)	-12.2 (-12.2)	-13.5 (-16.0)	
鳥取(41)	-20.7 (-17.5)	-18.3 (-15.0)	-13.5 (-12.5)	-13.2 (-7.9)	-21.3 (-20.0)	-22.0 (-25.0)	
米子(36)	4.3 (-5.0)	-3.0 (-10.0)	0.0 (-15.0)	-3.2 (-11.7)	-1.5 (-8.4)	-4.5 (-10.0)	
倉吉(23)	4.4 (-10.0)	-8.7 (-20.0)	-15.8 (-11.6)	-4.4 (6.7)	-13.1 (-23.3)	-13.1 (-28.6)	
境港(17)	-8.8 (0.0)	3.1 (-3.1)	-10.0 (-3.1)	-3.9 (6.7)	-11.8 (0.0)	-11.8 (-5.9)	
製 造 業	全県(37)	5.4 (-3.4)	1.4 (-8.6)	-5.4 (-7.1)	-4.2 (-3.6)	-6.8 (-5.1)	-5.4 (-12.0)
	鳥取(14)	-7.2 (-5.0)	-10.8 (-15.0)	-17.9 (0.0)	-7.2 (-5.0)	-10.7 (-10.0)	-10.7 (-20.0)
	米子(13)	7.7 (-5.0)	7.7 (-15.0)	3.9 (-20.0)	0.0 (-10.0)	3.9 (-5.0)	-3.9 (-10.0)
	倉吉(5)	30.0 (-25.0)	-10.0 (-12.5)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	-20.0 (-37.5)	0.0 (-25.0)
	境港(5)	10.0 (20.0)	30.0 (-10.0)	0.0 (0.0)	-10.0 (10.0)	-10.0 (30.0)	0.0 (10.0)
非 製 造 業	全県(80)	-12.0 (-6.6)	-13.7 (-10.5)	-11.1 (-23.5)	-8.6 (-3.9)	-14.7 (-16.0)	-17.3 (-18.2)
	鳥取(27)	-27.8 (-30.0)	-22.2 (-15.0)	-11.1 (-25.0)	-16.7 (-5.0)	-27.0 (-30.0)	-27.8 (-30.0)
	米子(23)	2.3 (-5.0)	-9.5 (-7.5)	-2.4 (-12.5)	-5.0 (-12.5)	-4.6 (-10.0)	-4.8 (-10.0)
	倉吉(18)	-2.8 (-4.6)	-8.4 (-22.7)	-21.5 (-15.0)	-5.6 (9.1)	-11.1 (-18.2)	-16.7 (-30.0)
	境港(12)	-16.7 (-8.3)	-9.1 (0.0)	-15.0 (-4.6)	0.0 (5.0)	-12.5 (-12.5)	-16.7 (-12.5)

BSI=1/2(X-Z) X=上昇・増加 Y=不変・横バイ Z=減少・下降 但し(X+Y+Z)=100%